

## 令和5年度 第4回 葵西小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年2月22日（木） 午後2時30分から午後4時00分まで
- 2 開催場所 葵西小学校 2階 会議室
- 3 出席委員 長谷川 良樹、辻岡 和代、古山 照美、石井 朋子
- 4 欠席委員 松尾 真由美、村井 レティシア
- 5 オブザーバー 嶋田 哲也（北部協働センター）
- 6 学 校 水野 希樹（校長）、古橋 智一（教頭）、寺田 善一（教務主任）  
廣瀬 高志（生徒指導主任）、工藤 敬子（CSディレクター）
- 7 傍 聴 者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 工藤 敬子
- 9 議長の選出

古山委員が、本日の議長を務めることを申し出、全員異議なくこれを承認した。

### 10 協議事項

- (1) 学校評価「よりよい葵西小づくりのためのアンケート調査」を受けて
- (2) 令和6年度学校運営方針の承認
- (3) 学校運営協議会の自己評価

### 11 会議記録

司会の教頭から、委員総数6人のうち4人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

#### (1) 学校評価「よりよい葵西小づくりのためのアンケート調査」を受けて

議長の指示により、教務主任から別紙資料に基づき説明があり、学校評価の集計結果の考察について提案された。委員からは以下の発言があった。

- ・ 自分を褒めることと挨拶することは関係し合っていると思う。4、5月に比べ、挨拶の声の出る子があまり増えていない印象がある。（長谷川委員）
- ・ 学校では友達の良いこと見付けをたくさんしているが、家庭では大人も子供も、自分を褒める機会は少ないのではないか。今後「自分を褒める」をキーワードとして取り組んでみると良い。子供が自分を褒めたときに、大人もすごく褒めれば、自己肯定感が促進される。子供同士で褒め合ったり、自分の居場所を作り合ったりする積み重ねが、いじめをなくしていくことにもつながると思う。（辻岡委員）
- ・ 大人が褒めていないから、挨拶も広がらないと気付いた。「おはよう」だけで「声が大きいね。」と言っていなかった。地域でも、大人が褒めないと子供も褒め方が分からない。今後、地域の大人としての課題だと思う。（長谷川委員）
- ・ 子供ができていることを、大人も学びたい。子供同士の挨拶やコミュニケーションを褒めたり、地域で良いこと見付けをしたりしていくと良い。（辻岡委員）
- ・ ここ数年挨拶が低迷して元気がない印象がある。声の出せない子供も周りにつられて挨拶することがあるので、みんなで盛り立てていけると良い。（古山委員）
- ・ 北星中の生徒が進んで挨拶してくれたので中学校に伝えた。（古山委員）
- ・ 地域から、良いことへの電話はたくさんほしい。地域が褒めてくれたら、子供の

行いが価値あるものと認識でき、地域の子供も学校も明るくなれる。(辻岡委員)

→ 学校ではキャリア教育で、自分を振り返る機会が定期的であり、その際挨拶についても触れられると良い。(学校)

- ・ いじめ撲滅集会での取り組みについて。「どうすればいじめはなくなるのか」について、子供は何を話し合ったのか。(辻岡委員・古山委員)

→ 10月の児童集会ではいじめ撲滅について、劇で状況を再現し、自分ならどうするかをクイズ形式で考えた。学校では「いじめ見逃しゼロ」を基本に取り組み、トラブルに対して教職員も家庭も含め大人たちがサポートして、子供同士で解決できる子に成長してほしいという願いがある。「いじめ見逃しゼロ」のためにも「挨拶を地域から」と連携することはとても良い協力体制だと思う。(学校)

協議の結果、学校での指導の成果、子供たちや保護者の実感、家庭や地域との連携への願いを共有した。

## (2) 令和6年度学校運営方針の承認

議長の指示により、校長から別紙資料に基づき学校経営方針について説明があり、来年度の目標や達成するための手立てについて協議した。委員からは以下の発言があった。

- ・ 資料には子供の姿がたくさんに書かれており、よく練られていると感じる。いじめ防止や地域の挨拶に関わりながら子供たちの優しさをどう育てていくか考えたい。(辻岡委員)
- ・ 電話録音対応について。学校に様々な電話が掛かってくるとは思いもよらなかった。ぜひ、先生方には時間を活用していただきたい。(古山委員)
- ・ タブレットを利用した学習習慣の形成は、一日でも早く始めた方がいい。子供は触れることで学ぶ。(長谷川委員)
  - タブレットの持ち帰り。機器やSNSトラブルを起こしやすいため、扱いを慎重に行うことを保護者に丁寧に知らせながら、着実に取り組んでいきたい。(学校)
- ・ 陸上と水泳大会は令和6年度で終了というが代替案や理由は何か。(長谷川委員)
  - 地域のスポーツ少年団の環境が整ってきている。教員の働き方改革推進や県内での大会の減少も影響している。回泳は浜松市の伝統として残る。(学校)
- ・ 「〇〇〇ながら見守り」とは何か。自治会で見守り活動を広げられなかったのも、自治会でも考えたい。(長谷川委員)
- ・ 学校運営協議委員として授業参観するときには、子供の目線で普段通りいつものままの授業を参観したい。(古山委員)
- ・ 6年生の最後の授業参観で将来の夢の発表を聞いた。2年前との変化に驚いた。子供たちも変わってきており、変化に驚いた。(石井委員)

協議の結果、学校運営方針について委員全員の挙手により承認された。

### (3) 学校運営協議会の自己評価

議長の指示により、会長の長谷川委員から、事前に委員から集約した意見をまとめた自己評価案について説明があった。委員からは以下の発言があった。

- ・ 来年も挨拶運動を継続し、「〇〇〇ながら見守り」という新しいことに取り組めると良い。(辻岡委員)
- ・ 来年度も子供の安全を見守っていきたい。旗振りの見守りの方が減少しているので、「〇〇〇ながら見守り」ができるととても良い。(石井委員・古山委員)
- ・ 自治会でも「〇〇〇ながら見守り」を実施する方向で検討したい。(長谷川委員)
- ・ ホームページでの情報発信に関して。子供も家で学校ブログを見るのを楽しみにしている様子も見られる。行事の際には情報発信してほしい。(古山委員)

協議の結果、提案された自己評価について、一同承認した。

#### その他報告連絡事項等

- ・ 夢育やらまいか事業（CS加算分）について、教頭から報告があった。
- ・ 来年度の協議会委員について報告があった。
- ・ 来年度の協議会は、本年度同様年4回開催する予定である。

第1回 令和6年 5月10日（金） 14:00～16:00